

# 芽室町地域公共交通活性化協議会 平成22年2月24日設置



## 概要

芽室町は、市街地の一部に路線バスが運行され、農村地帯においてはスクールバスが運行されているものの、高齢化が進展する中、交通空白地域が多数存在しているなど、車を利用できない住民にとって日常生活に支障をきたす状況となっている。このため、住民、特に高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指し、コミュニティバスやデマンド型交通の導入、スクールバスの有効活用など今後の公共交通のあり方について、調査検討を実施する。

### 地域公共交通の現況

- ・JR根室本線（芽室駅、大成駅）
- ・十勝バス（1路線）
- ・スクールバス（13路線）

### 地域公共交通の課題

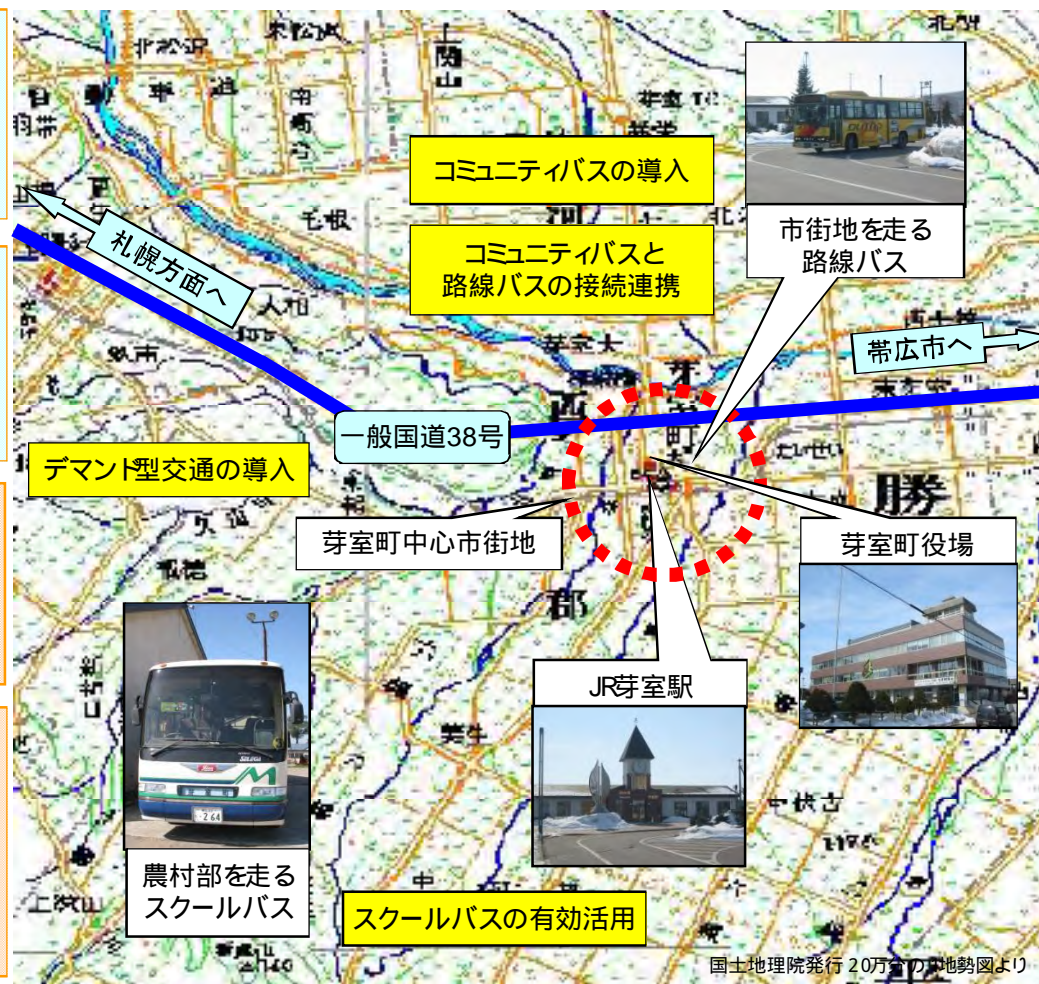
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・マイカーへの依存度が高く、路線バスの利用が低調
- ・交通空白地域の存在

### 調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）
- ・市街地におけるコミュニティバスの試験運行

### 策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ・コミュニティバスの導入
- ・デマンド型交通の導入
- ・スクールバスの有効活用
- ・コミュニティバスと路線バスの接続連携





# 芽室町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

協議会開催状況

5回開催

分科会等開催状況

-

開催状況は平成22年度中のもの(開催予定を含む)

## 主な調査の実施内容

### 現況交通実態調査

・既存路線バスの乗降調査 (H22.7.1 ~ 9.30) 及びスクールバスにおける一般町民の利用実態調査 (H22.9.1 ~ 9.30) を実施

### 利用者ニーズ把握調査 (アンケート調査)

・16歳以上の町民から無作為抽出した2,000人に対し、「日常生活における移動交通手段」「コミュニティバスに関する考え方」などの把握を目的としたアンケート調査を実施 (H22.9.15 ~ 10.1、回収率約40%)

### コミュニティバスの試験運行

・秋季及び冬季に、市街地において、移動需要や住民ニーズの把握を目的とした循環コミュニティバスの試験運行を実施

(秋季 :H22.10.7 ~ 10.25 運賃無料 1便平均9.7人が利用)

(冬季 :H23.1.10 ~ 2.9 1.10 ~ 1.25は運賃無料 1便平均11.6人が利用 1.26 ~ 2.9は運賃100円 1便平均8.2人が利用 = 1/31迄)

### その他の調査等

・コミュニティバス運行に係る意見交換会を実施

(市街地町内会長 :H22.8月10月12月、市街地老人クラブ会長 :H22.8月、民生児童委員 :H22.9月11月)

## 予定している主な連携計画の内容

コミュニティバスの導入 (実施主体 :芽室町、交通事業者、実施時期 :H23 ~ )

・高齢者等町民に対し、買物・通院など日常生活の移動をサポートしていくため、市街地内を循環するコミュニティバスを導入

低床バスの導入 (実施主体 :芽室町、実施時期 :H23 ~ )

・高齢者等も安全かつ快適に利用できるよう、コミュニティバスの運行車両として、低床バスを導入

利用促進に向けた取組の実施 (実施主体 :芽室町、芽室町商工会、各商店会等、実施時期 :H23 ~ )

・コミュニティバス利用者・地元買物客相互の確保に向けて、コミュニティバス利用者に対して地元商店でのサービス提供を実施

・コミュニティバスの取組を広く周知するため町HPや広報誌等への情報掲載のほか、気軽に利用できるポケットサイズの時刻表等を作成・配布

## 自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査、コミュニティバスの試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において町内会長等と意見交換会も行いながら合意形成を図っている。

## 二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。

・コミュニティバスの導入に当たっては、既存の路線バスとの役割分担や乗継ぎ円滑化にも留意されたい。

将来的な持続可能性にも配慮した運賃のあり方について検討されたい。